網走信用金庫
地域情報誌

ご自由にお持ち帰りください

地域の扉

2023
12月
Vol.26

大空町と「さくら豚」
～地域が育てるブランド豚～

大空町女満別地区では地域のブランド豚として「さくら豚」の販売に取り組み、道の駅などの町内の飲食店でご当地メニューを提供しています。
今回はブランド化の背景や育て方のこだわりなどについてご紹介します。

「さくら豚とは」

大空町で育てられているブランド豚として、「さくら豚」があります。さくら豚は、国が造成したデュロック種のサクラ201を旧女満別町に導入したのがきっかけです。

大空町で、サクラ品種を種雄に使っている養豚農家が出荷している豚を「さくら豚」といいます。生育のこだわりとして、出荷3か月前から広い場所に移し、豚舎の床に地元産の麦殻、米の籾殻を敷くなど豚にストレスをかけない飼育にこだわっています。以前は普通の豚肉として、一般ルートで販売されていましたが、品質の良さが見直され、大空町女満別のブランド食材となりました。出荷1か月前から麦系飼料を食べさせることで、豚が真っ白くなり、肉の甘味が増します。柔らかい肉質ときめ細かくあっさりとした脂が特徴です。

ご当地グルメ

大空町のご当地グルメとして、「大空豚しゃぶ長いも丼」があります。「大空町」は、オホーツクの空の玄関・女満別空港を擁する女満別町と芝桜で有名な東藻琴村が合併して誕生しました。澄み切った空と実り豊かな大地「大空町」を広く知ってもらうきっかけにしようと、ご当地メニューの開発が始まり、女満別地域の豚肉と東藻琴地域の長いもという自慢の特産物を組み合わせて「大空豚しゃぶ長いも丼」が完成しました。

大空町で定めたルールに基づき、町内（女満別地区・東藻琴地区）の飲食店にて、店の特色を生かしたメニューを提供しています。

協力：(一財)めまんべつ産業開発公社

大空豚しゃぶ長いも丼『10のルール』

1. 大空町産豚肉を使う（薄切りのしゃぶしゃぶ肉）
2. 大空町産長いもを使う
〈つらら、みぞれ、とろろ等スタイルは各店が工夫する〉
3. 北海道産のお米を使う〈ブレンドもOK〉
4. 自家製オリジナルタレで味付けする
5. 丼スタイルで提供する
6. しじみ汁とわかさぎの佃煮（小鉢）をセットでつける
7. 季節の野菜〈地元産〉を必ず入れる。
（漬物でも、丼のトッピングでも、各料理人のこだわりの見せどころ）
8. 1000円以下で提供する
9. メニュー表には、必ず使用素材の産地表示をする
10. オリジナルのランチョンマットを使用する

「さくら豚」を使用した商品

さくら豚を使用した商品は大空町内の道の駅「メルヘンの丘めまんべつ」「ノンキーランドひがしもこと」で購入できるほか、大空町のふるさと納税の返礼品としても採用されています。

①さくら豚ぎょうざ
大空町産の「春よ恋」小麦を使用した、地元産にこだわった商品です。

②さくら豚串
肉厚でジューシーな口当たりです。バーベキューだけではなく、ご飯のおかずにもピッタリです。

③さくら豚味噌漬け
さくら豚を自家製の味噌に漬け込んで仕上げました。そのままフライパンで焼くだけでご家庭で手軽に楽しめます。

④さくら豚ジンギスカン
さくら豚を特製のタレに漬け込んだジンギスカンです。
醤油味と味噌味の2種類を販売しています。

特集　網走市内の博物館

今回は冬場でも楽しめる観光スポットとして、網走市内の博物館を紹介します。訪れたことがある方もいらっしゃると思いますが、各施設の見どころをご紹介します。

①網走市立郷土博物館

昭和11年に「北見郷土館」として開館。昭和23年に網走市に移管され、現在に至っています。モヨロ貝塚を発見した米村喜男衛氏が収集した考古資料の他、当地の動物の剥製や大正・昭和時代の生活資料などが展示されています。郷土博物館の建物（本館・新館）は、令和元年に国の登録有形文化財に登録されています。

②網走市立美術館

昭和47年に網走出身の画家、居串佳一氏の油絵を展示する美術館として開館。道内2番目の美術館として、新築では初の美術館として開業しました。現在は、網走にゆかりのある画家の作品を常設展示するほか、現代の若手アーティストの作品の展示や、不定期で企画展・共催展が開催されています。

③モヨロ貝塚館

大正2年に米村喜男衛氏が発見したモヨロ貝塚にて発掘された墓地や、当時のモヨロ人の暮らしを「住居」「墓」「貝塚」のテーマごとに紹介しています。同館は昭和41年に網走市立郷土博物館の分館として開館し、現在の建物は平成25年に改築されています。モヨロ貝塚は昭和11年に国の史跡に指定されています。

網走観光協会公式サイトです。網走の見どころ・グルメ・イベント情報が掲載されています。

網走観光協会公式サイト
https://visit-abashiri.jp

④博物館網走監獄

博物館網走監獄は、昭和59年まで網走刑務所にて実際に使用された建物を移築復原し、展示を行っています。

明治時代の北海道開拓における囚人の生活や中央道路開削などの歴史を伝える展示スペースも設けられています。

網走刑務所で使われていた8棟の建物が平成28年に国の重要文化財に指定され、6棟が登録有形文化財として登録されています。

⑤オホーツク流氷館

オホーツク流氷館は網走の資源である「流氷」をテーマに、昭和55年に開館しています。「クリオネ」や「フウセンウオ」など、流氷の下で育つ生き物の飼育展示や、流氷の成り立ちを紹介する展示、-15℃の室内で流氷に実際に触れられるコーナー等があります。屋上には「天都山展望台」としてオホーツク海や知床半島、網走湖、能取湖などが一望でき、四季を通じて楽しむことができます。

⑥北海道立北方民族博物館

北方民族博物館は平成3年に開館した、北方地域を専門とする国内唯一の博物館です。

同館では東はグリーンランド、西は北欧と、世界各国から集められた資料を、北方に住む先住民族の衣食住、生業などのテーマに分けて展示し、文化を紹介しています。19世紀後半に使用されたものから現代の工芸品、オホーツク文化の出土品等約900点を展示しています。

ちいきのえき
地域の駅 Vol.3

Chiikinoeki

網走 Abashiri　信金 Shinkin

至 知床斜里 ― 4.6km ― なかしゃり（B71） ― 7.3km ― きよさとちょう（B69） ― 7.8km ― さっつる（B68） ― 8.3km ― みどり（B67） ― 14.5km ― 至 川湯温泉

地元の駅をご紹介します。
３回目は釧網本線の
中斜里駅～緑駅です。

①中斜里駅

知床斜里駅からは車窓の風景が変わり、山林地帯を走行します。中斜里駅から札弦駅までの区間では、斜里岳に沿って列車が走っています。昭和４年に猿澗川（さるまがわ）駅として開設し、昭和25年に現駅名に改称しています。中斜里駅の近くには製糖工場があり、かつては貨物取り扱いを行っていましたが、現在はトラック輸送に転換し、旅客輸送のみとなっています。

※中斜里駅と清里町駅の間には南斜里駅が設置されていましたが、周辺地域の人口が減少し利用者数が少なく、令和３年に廃止されています。（写真は南斜里駅の跡地周辺で、更地となっています）

②清里町駅

清里町内の中心駅です。清里町はかつて「上斜里」という地名でしたが、昭和30年の町制施行にあたり、小清水町、斜里町から一文字ずつをとり、「清里」に名称変更しました。すでに山梨県内に「清里駅」が存在していたため、重複を避けるために、「清里町駅」と名付けられています。

当駅でもかつては貨物用の線路が設置されていましたが、現在は旅客ホームのみとなっています。

③札弦駅

清里町札弦地区の駅です。昭和４年に札鶴（さっつる）駅として開設し、昭和31年に現在の駅名表記に変更しています。近隣には日帰り入浴施設を併設した道の駅「パパスランドさっつる」が立地しています。

林業が盛んな地域で、近隣に製材工場があったことから、かつては貨物専用線も設置されていました。

その後、昭和57年に貨物の取扱が廃止されています。

④緑駅

昭和６年に上札鶴駅として開業。昭和13年には当駅より上札鶴森林鉄道が開設されました（昭和30年に廃止）。

昭和31年に現駅名に改称。現駅名の由来は、近隣の地域名「緑町」より名付けられています。

清里町緑地区に立地する駅で、近隣には「緑の湯」があります。

朝の通学時間帯には当駅始発の列車があります。以前は当駅終着の列車がありましたが、現在は釧網本線全線を通して運行しています。

中斜里駅

清里町駅

札弦駅

緑駅

国土地理院地図を加工し掲載　https://maps.gsi.go.jp/

あばしりしんきんからのお知らせ　～オススメの商品のご案内～

あばしりしんきん　懸賞付定期預金
「ふるさと応援商品『夢満開　パート２』」

あばしりしんきんがよりすぐりの商品をご用意させていただきました！

2023年11月
当金庫のHPが
新しくなりました。

特賞（80本）
- ○いくら・ほたてセット
- ○チーズ・ソーセージセット
- ○毛ガニ
- ○牛すき焼き肉

地域グルメ賞（1,200本）
- ○網走ポーク
- ○アスパラガス
- ○一夜干しセット
- ○清里焼酎セット

あばしりしんきんホームページ
https://www.shinkin.jp/abashiri/

募集期間は2023年3月29日までとなっています。
※募集総額に達した場合は販売を終了させていただきます。

地域のイベント情報

厳冬期の知床五湖エコツアー【斜里町】1月21日(日)～3月20日(水)

【開催場所】知床五湖
【イベント内容】夏には散策できない湿地帯や湖の上を歩くことができるガイドツアーです。
【問い合わせ先】知床斜里町観光協会　TEL：0152-22-2125

第59回あばしりオホーツク流氷まつり【網走市】2月10日(土)・11日(日)

【開催場所】網走商港埠頭
【イベント内容】市民雪像・氷像の展示はもちろん、昨年度好評であった音楽フェスやサウナイベントを開催予定。網走のグルメも楽しめます。
【問い合わせ先】網走市　観光商工部　観光課　観光振興係　TEL：0152-44-6111

北見冬まつり【北見市】2月上旬

【開催場所】北見駅南多目的広場（北見芸術文化ホール前）
【イベント内容】雪山のすべり台、ステージイベント、飲食スペースや縁日などが楽しめます。
【問い合わせ先】北見冬まつり実行委員会事務局（北見市観光振興課内）　TEL：0157-25-1244

編集後記

季節が冬に変わり、猛暑が続いた夏とは異なり、厳しい寒さや除雪など、冬ならではの大変さがあると思います。本号では冬の厳しい寒さの中でも屋内で楽しめる博物館の情報や、冬ならではのイベントを掲載しました。行動制限は緩和されましたがインフルエンザなどの流行も心配です。体調管理に気を付けながら、懸賞付定期預金「ふるさと応援商品『夢満開パート2』」の抽選をお楽しみに、日々を過ごしていけるよう、ご祈念申し上げます。

■2023年12月1日発行　■編集・発行/網走信用金庫　地域振興支援部　〒093-0005　網走市南5条東1丁目4番地の1　TEL:0152-67-4128